

# 鉛直遮水壁の施工について ～ 処分場北側における地山確認調査（案）～

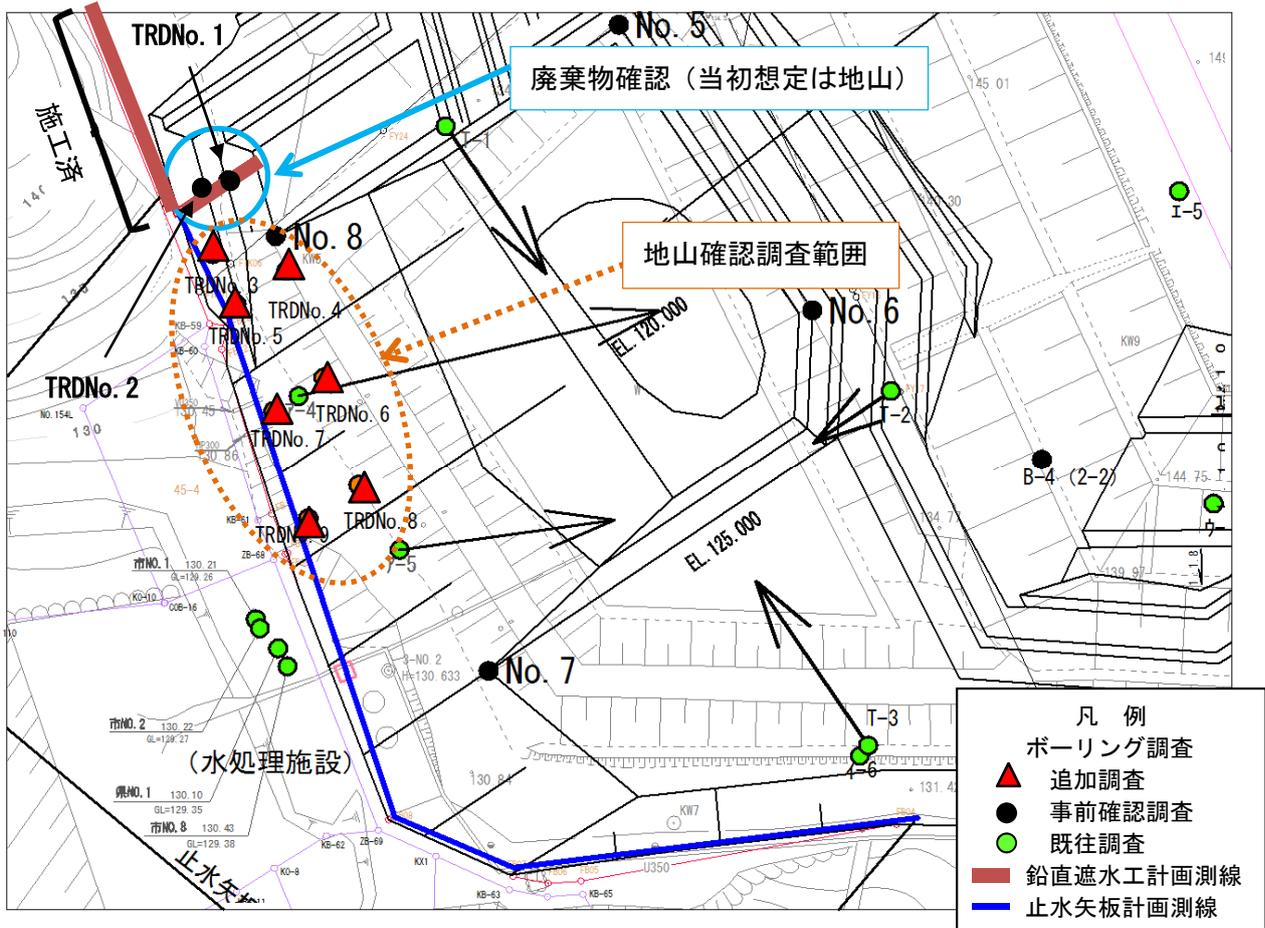


図 1 処分場北側の地山確認調査位置図（案）

- (1) 鉛直遮水工端部（折り曲げ部）における廃棄物の確認
 

図 1 TRD 工折り曲げ部（○部）を掘削したところ廃棄物を確認しました。追加のボーリング調査を実施した結果、TRDNo.1 孔には廃棄物がなかったものの、TRDNo.2 孔には深度 6.2m まで廃棄物が埋設されていました。
- (2) 地山確認調査
 

廃棄物掘削および側面遮水に変更が生じるおそれがあるため、次の調査によって周辺（○部）の廃棄物の分布を把握します。

  - ① 試掘調査
 

バックホウを用いて処分場北側の敷地境界沿いに試掘調査（深さ 1～2 m）を行い、敷地境界付近における廃棄物の有無および地山の分布状況を確認します。
  - ② ボーリング調査
 

ボーリング調査を行い、廃棄物の埋設深さを確認します。
- (3) 現計画のチェック
 

調査結果をもとに現計画をチェックします。必要があれば計画を修正します。

※結果は後日報告します。